

三誠グループはさまざまな条件下で、最良のソリューションを提供しています。

ECS-TP工法

某競輪場夜間照明工事

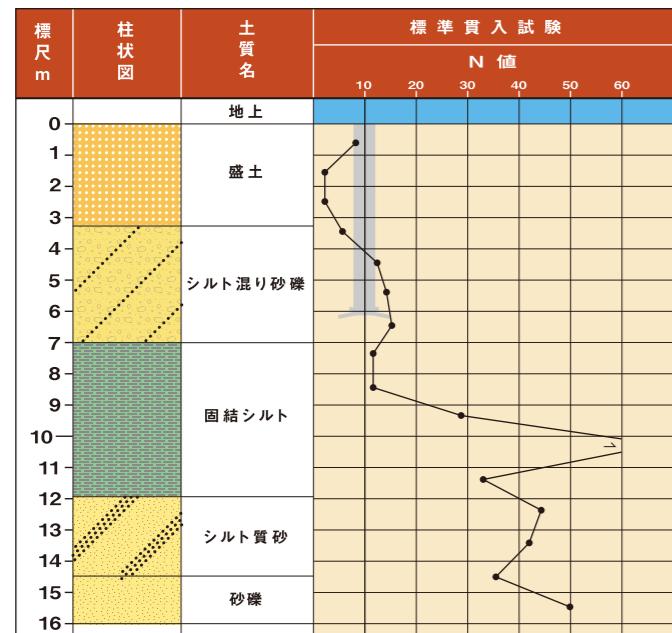
狭い施工場所かつ短納期という厳しい条件も難なくクリア。

当初はコンクリート柱を埋め込む設計でしたが、施工時にパンクを傷つける懼れがあり、納期も間に合わないとの理由でECS-TP工法を採用いただきました。施工場所が狭く溶接機が入らないため、ECS-PJ工法で対応しました。厳しい条件下での施工でしたが、現場での打ち合わせを関係者全員で行った結果、連携がスムーズに進み、当初の予定よりかなり短い工期で完了。元請様からは他の案件も依頼したいとのお言葉をいただきました。

【施工年月:平成30年3月】



ボーリング柱状図



構造物概要

名称	某競輪場夜間照明工事	建築面積	2,100m ²
施工場所	西日本地区	施工年月	2018/2/15～2018/3/17(17日間)
用途	照明灯	杭の種類	φ190.7、φ216.3、φ267.4
構造	S造1階	杭長	6m
設計支持力	95.8kN～176.8kN	本数	27本
先端N値	10	杭先端深度	GL-6.3m

株式会社 三誠
SANSEI Inc.

本社
TEL:03-3551-0211 FAX:03-3551-0217
ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>
メールアドレス info@sansei-inc.co.jp
〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル 9階

北海道営業所／東北営業所／新潟営業所／北陸出張所／北関東営業所／茨城営業所／東京支店／千葉出張所／神奈川出張所／関西営業所／中部営業所／中四国営業所／九州営業所／沖縄営業所
北海道地区総代理店
株式会社 北雄産業 TEL:011-824-0111 FAX:011-824-0115 ホームページ <http://www.hokuyuu.com/>

お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp
または、FAX 03-3551-0217(担当 営業管理課 小林)まで。

ECS-TP工法

京阪電気鉄道伏見稲荷駅改修および増築工事

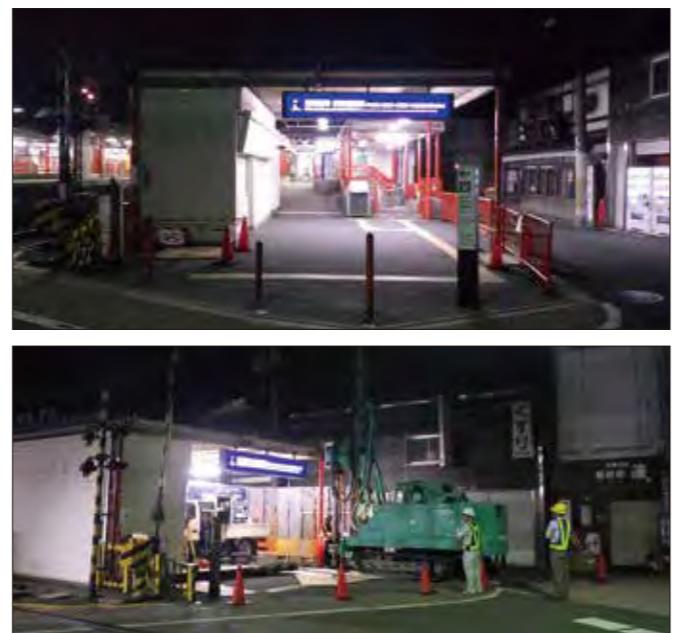
夜間のみの限られた施工条件下でも最短日数で対応。

伏見稲荷大社の最寄り駅舎の全面リニューアルに伴う駅入り口の基礎に、ECS-TP工法を採用いただきました。日中は国内外からの観光客で賑わう踏切の真横というロケーションなので施工時間に制約があり、終電から始発までの4時間で、搬入・搬出、溶接4箇所を含む杭打ち作業を行い、延べ4日間で完了しました。元請様の協力もあり、可能な限り施工スペースを確保していただけたおかげで、当初想定した日程の最短の日数で施工する事ができました。

【施工年月:平成29年9月】



ECS-TP杭埋設写真



構造物概要

名称	京阪電気鉄道伏見稲荷駅改修および増築工事	建築面積	—
施工場所	京都府京都市伏見区	施工年月	2017/9/6～2017/9/9(4日間)
用途	駅改札前ファサード	杭の種類	φ216.3
構造	—	杭長	18m
設計支持力	195kN	本数	2本
先端N値	15	杭先端深度	GL-18.3m

ジーエクス・パイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー。

SANSEI NEWS

2018 May. Vol.29

三誠
新役員
座談会

お客様にさらなる満足をお届けいたします。

営業本部、開発本部、設計本部の新役員に、

今期の予測や抱負を語ってもらいました。

開発本部は今期から新設された部署で、ECS-TP推進室、土木プロジェクト室で構成されています。今期は特にECS-TP工法に注力していくつもりです。

G-ECSパイルも順調ですが、

将来を見据えて

ECS-TP工法を拡販していくことで意識を部署に共有していく目標件数や目標数值を設けています。今期からは設計本部と三誠エンジニアリング、各部署間の役割ですが、最初に営業本部が設計本部に検討を依頼、数回のやりとりを経ておいて設計本部と三誠エンジニアリング、各部署間の役割で、達成に向けて進じています。

高浜 各部署間の役割ですが、最初に営業本部が設計本部に検討を依頼、数回のやりとりを経ておいて設計本部と三誠エンジニアリング、各部署間の役割で、達成に向けて進じています。

高浜 今期は開発本部とも連携を取り、これから引き続き推進したいと思います。

カーナーの中ではおそらく三誠だけか

と思います。そこで蓄積した技術力を次の提案や差別化につけていくことが重要で、これは昨年から取り組んでいたテーマでもあります。徐々に効果も出ていますので、今期からは開発本部とも連携を取りながら引き続き推進したいと思います。

高浜 このような取り組みが実を結びつつあり、G-ECSパイルは、今期の上期に開催ましては概ね順調に推移しそうです。

高浜 売上げ予測に関しては、以前に比べて物件が大型化しているので見込みが立てやすくなっています。

高浜 ただ下期は建築業界を取り巻く環境を含めて不透明ですが、大型化が進んだ分、日程がずれたで、気を引き締めていこうと思ってます。先ほど入江本部長から物語の大型化が進んだ分、日程がずれたで、気を引き締めていこうと思ってます。

高浜 ただ下期は建築業界を取り巻く環境を含めて不透明ですが、大型化が進んでいます。先ほど入江本部長から物語の大型化が進んだ分、日程がずれたで、気を引き締めていこうと思ってます。

中部・関西エリアも 協力会社と よい関係を築いています。



サンテクノさん

三誠の強みについて

- 案件ごとに常に良いか悪いかを明確に判断し、出した答えに対し責任を持つて対応してもらえるので、いつも安心して杭の打設に取り組むことができます。また、常に環境への配慮を考慮した杭を推奨し、しかもコスト削減に取り組む姿勢はとても頼もしく感じます。
- 市街地などの狭小地の物件にも積極的にアプローチを行い、競合他社が手を出せないような物件も仕事につなげてくれています。施工店としては、施工計画や施工方法を三誠と一緒に話し合い、綿密に計画を立てた上で実行できる点は楽しくもあり、一緒に仕している醍醐味であります。
- 構造事務所との直接のやり取りを厭わずに対応してもらえるのはとても助かっています。設計に関しましても、三誠の設計部いつもスピードに対応いただけるのをありがたく思っています。

三誠の開発力について

- 無溶接継手（ECS-PJ工法）や自動溶接ロボット（ECS-AW工法）など、杭の打設をスマートに行うための製品開発ができるのは、現場のニーズがしっかりと把握できているからで、その点はとても助かっています。
- さまざまな改善提案を遠慮なく相談できるのも、三誠との信頼関係がベースにあるからこそと思っています。

色々な声をお聞かせいただき、ありがとうございました。

三誠はこれからも協力会社の「声」に耳を傾けながら、新たな製品の開発や市場の開拓に邁進したいと考えています。



東昌基礎さん



横井クレーンさん



浪速試錐工業所さん

- 三誠が鋼管杭の市場でトップシェアを獲ることができたのは、杭施工店や杭製作工場とコミュニケーションを取りながら、一体感を持って製品を開発し、製造、施工してきたことが大きな要因のひとつと考えています。前号に引き続き、今回は中部・関西方面の協力会社からいただいた、三誠に対するさまざまなお話を集めてみました。
- 専門工事業者として施工管理はもちろ

施工や施工現場でのやりとりについて

- 元請や設計・構造事務所との調整など、杭メーカーとして率先して前面に立つて仕切つもらっています。新たな費用が発生しそうな場合は必ず事前に確認いたくなど、施工会社の意図を汲んで動いてもらえるので無駄がなくとも助かっています。

専門工事業者として施工管理はもちろ

三誠AIR断震 システムのことわり

「空気」と「振動」をテーマに
さまざまな実験・開発を繰り返し、
得られたデータに基づいてご提案しています。

TMD(Tuned Mass Damper)

風による高層建築物の長周期水平振動を低減する制振装置

従来の製品より高性能かつ狭いスペースで設置することができます。既存建物にも対応できます。

某フィットネスクラブの防振対策

ビルの上階に入っている三誠と一緒に提案するようにしています。時には施工後に社に戻り、三誠と議論を行いトラブルが少しでも早く解決するよう努力しています。↙

床の固有振動数を計測し、床にペアリングが一般的でしたが、三誠AIR断震システムでは、ペアリングが一般的でした。

重りを空気で支持する方法を開発しました。

「空気」と「振動」をテーマに
さまざまな実験・開発を繰り返し、
得られたデータに基づいてご提案しています。

またAIR断震システムを開発を目的として、東京理科大学と共同研究も行っています。

新卒社員紹介

今年もフレッシュな4名が入社しました。
見かけたら気軽に声をかけてください。

岩本真也

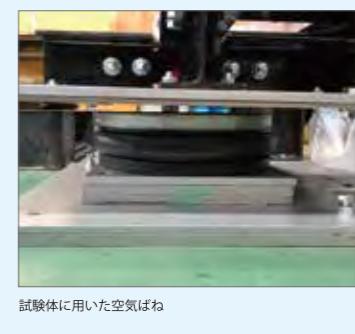
土木科卒で、土木全般および測量を学んでいました。三誠の企業理念に感銘を受け、また施工管理に興味があるためでお世話になることに決めました。いわゆる「からも信頼される技術者になりたい」と思っています。

山田知往

工学部第三部建築学科卒で、鉄骨造と版築土でできた壁の合成構造という新しい研究テーマに取り組んでいました。教授に就職相談をした際に三誠を紹介いただきました。鋼管杭や地盤工について考慮するとのことで大学の研究テーマと脈絡があると思い応募しました。杭の詳細や施工までの流れを理解した上で、杭検討ができるようになります。三誠の技術開発につながるよう日々努力していく所存です。

和田脩平

工学部建築都市環境学科卒で、建築音響学を学んでいました。三誠のことは先輩社員から紹介され知りました。音響学で日々浅いですが、特に接続を重点的に頑張りたいと思います。社内および現場で接続を通して活気のある雰囲気を作りたいです。いわゆる資格取得を目指し一日でも早く会社に貢献したいと思います。



試験体に用いた空気ばね

スタッフはベテラン揃い。 抜群のチームワークと 豊富な経験を活かして、 市場開拓に邁進します。

中部営業所

営業所紹介 ⑫

中部営業所

所長 石原 久永

を取りながら対応中です。
ECS-TP工法に関しましては、今後も工場機械基礎への応用などを積極的に提案し拡販に努めています。

中部エリアはまだ伸びる可能性があると思います。スタッフの平均年齢が48歳とやや高めではありますが、豊富な経験を武器に、今後も積極的に市場開拓を行っていきたいと思います。



石澤 香奈子 片桐 文彦 来嶋 久市
塩谷 全令 所長 石原 久永 深江 伸行

中部営業所は開設して5年目を迎えます。開設時は3名でしたが、現在は6名体制です。売上も年々伸び開設時の倍くらいになりました。

開設時はG-ECS-Pバブルの知名度が低く、設計事務所や建設会社に名前を知つていただくところからのスタートでした。カタログを紙袋に詰め込んで設計事務所、建設会社を回る毎日でしたが、鋼管杭の実績やメリットを根気よく伝え続けたことで、今では自動車産業、航空宇宙産業などの工場物件を中心とした個別のルールがあり、特別な対応が必要となります。

私たちが施工した杭の上に建てられた工場で、新型の自動車が開発され、飛行機が空を飛び、ロケットが宇宙まで行くことを思うと夢とやりがいを感じます。

ECS-TP工法も、トルゲート、歩道庇などの公共施設の引き合いがあり、本社の設計本部、三誠エンジニアリングと細かく連携